

中部緊急防災隊

防災隊式典・班長会議

日本建設業協会中部支部(青野俊弘支部長)の会員を中心に、愛知、岐阜、三重、静岡、長野の中部5県から道路事業に携わる有志で結成する「中部緊急防災隊」(青野本部長)が7月22日名古屋市名東区のサンプラザシーズンズで「中部緊急防災隊式典」を開催した。式典には中部5県から180人が参加、午前中には各地区の代表者と事務局が班長会議を開催し、各班の要望に対し意見の取りまとめと対応を協議した。

式典では、開催の辞、隊旗入場に続いて、青野本部長が「中部防災隊は、社会貢献を基本理念とし緊急時に道路交通網を確保する為に設立された。隊員は、緊急連絡体制の強化や資機材の点検を充実させ、災害時にはより迅速な対応をお願いしたい」と訓示した。

来賓挨拶では、中部地方整備局の田邊千秋道路部道路情報管理官が「昨年度は、御嶽山の噴火や高山市豪雨災害など、管内でさまざまな災害が発生した。中部整備局もTEC-FORCE(テックフォース、緊急災害対策派遣隊)を派遣しているが、災害対応は地域を知る皆様方が必要不可欠」と述べ、期待を寄せた。

また、日本道路建設業協会本部の長谷川仁環境・安全委員長が「期待される防災隊を目指し、より一層、組織の充実を図ってほしい」と述べた。

最後に民部順一隊長が綱領を朗読し「規律と連携のもと、災害発生時に機動力と技術を駆使して復旧に当たり、公共の福祉に寄与する」と力強く誓った。



青野本部長訓示



来賓各位



防災隊式典



来賓挨拶 田邊道路情報管理官



班長会議